

令和3年度のコミュニティバス等の利用者数・収支率について

標記について、令和3年度第1回バス専門部会（令和3年7月15日開催）において、令和3年度におけるコミュニティバス等の運行継続・改善・廃止に関する判断を行わず、令和元年度、令和2年度と同様に参考値とすることが、全会一致で了承されたことを受け、さいたま市地域公共交通協議会へ諮るものです。

■背景

- ・令和2年7月 令和2年度第1回さいたま市地域公共交通協議会
令和元年度及び令和2年度の利用者数・収支率は参考値とすることが決定。
- ・令和3年3月 令和2年度第4回さいたま市地域公共交通協議会
令和3年度の利用者数や収支率の取扱いについては、令和2年度の利用者数の結果から補正係数を算出し、運行の継続・改善・廃止の判断を行う。

■令和3年度第1回バス専門部会での主なご意見

- ・補正係数については判断が難しい。実証運行を実施している他地域では、この期間の数字で判断することは難しいと考えているところが多い。実証運行を当面継続するところもあれば中断するところもある。補正係数をそのまま適用して判断することができるか判断が難しい。
- ・昨年度は、今年度になれば一定程度利用が戻った状態で安定すると考えていたが、先が見えない状況である。どちらが適切と言い切れないが、個人的には参考値にしたほうが適切かと思う。
- ・新型コロナの感染状況は、ワクチン接種がどれだけ進んだかで変わる。さいたま市では大規模会場を設けているが今後のワクチン供給の見通しが見えない。
- ・自治会連合会で聞く限りでは高齢者はかなりワクチン接種が進んでいる。これから若い人にも接種が進んでいくので、ワクチンの接種状況の正確な数字を市の担当者に問い合わせている状況である。若い人も接種しないと感染者数は下がらないと思う。
- ・推定でやっても差が出る部分はあるため、ある程度見通しがついた段階で判断した方が良いと思う。若干延ばして正確な判断ができるように検討した方が良い。
- ・オリンピック開催前には一定程度回復すると考えていたが、四半期は75%くらいで推移している。
- ・コミュニティバス等の運行継続・改善・終了に関する判断は、事務局の提案通り、今年も参考値扱いで良いのではないかと。

■令和3年度第1回バス専門部会における結論

（令和3年度第1回さいたま市地域公共交通協議会への事務局提案）

令和3年度におけるコミュニティバス等の運行継続・改善・廃止に関する判断を行わず、令和元年度、令和2年度と同様に**利用者数や収支率は参考値扱いとする。**